

幌加内町の魅力体験!! ふるさとワーキングホリデー

ふるさとワーキングホリデーとは、都市部で暮らす方々が、一定期間、地域に滞在し、働いて収入を得ながら、地域の方との交流や地域の魅力を体験する交流事業で、令和4年7月13日から9月12日までの期間、NPO法人シュマリナイ湖ワールドセンター（代表 中野信之氏）にて、2名の方が参加し実施されました。

参加されたお二人からは、幌加内の大自然との触れ合いや都会では体験することが出来ない掛けがえのない時間を過ごすことが出来たこと、またワーキングホリデーに参加して、幌加内町とのご縁が出来たことに感謝しつつ、ワーキングとホリデーを満喫された様子でした。



武智 昌代さん（36歳）

ワーホリ参加者の
お二人



早稲田大学 上林 賢治さん（21歳）



政和アートFes会場でチェロ演奏



新そば祭りではろみんとツーショット！



そば打ち体験



朱鞠内湖でのワカサギ漁



朱鞠内湖畔キャンプ受付対応

ワーホリ事業に参加してみても・・・

武智 昌代さん

約1ヶ月間、本当に濃い日々で、とても貴重な経験となりました。キャンプ場やそばの花、白樺、何気ない景色も新鮮で、シュマリナイ湖ワールドセクターの方、役場の方以外にも、Art Fesの方など、様々な方と関わりを持てたことも本当に嬉しかったです。ずっと暮らしている方には、不便さも含めていろいろあると思いますが、幌加内町って良いところだなあと思いました。以前200人の会社で2人の部署におり、ここでは、決められた仕事をどう工夫していくかが大事と認識していました。ここでは、やりたいという意志と行動で、どんな新しいものが作られていくのだと感じました。目が開かれた思いです。様々な技術や考えを持った人が大事、こうしたいという気持ちや大事、その気持ちや共有してくれる人につながるものが大事、そして、実現の途中に起こる問題に対して工夫し取り組み続ける行動が大事。皆さんの大事なことを学ばせていただきました。

早稲田大学 上林 賢治さん

参加できて本当に良かったと思う充実した日々でした！ふるさとワーキングホリデーの最大の魅力は普段の生活とは全く違う環境での日常を体験できることだと思います。幌加内町での生活は自然の素晴らしさを贅沢に堪能でき、中でも受け入れ先の【レークハウスしゅまりない】から見る湖の美しさに魅了されました。広大で波が穏やかな朱鞠内湖を船で駆け抜けるのは爽快で湖を独り占めしているようでした。就業先での小学生の自然体験プログラムでは、自分も一緒にキャンプ場や湖の景色を楽しむことが出来ました。さらに、真っ暗の夜空の下で空気が冷たく秋の訪れを感じながら、外で焼き火・BBQをしたのは最高でした。

また、幌加内町の魅力も知ることが出来ました。初日に幌加内町に来て食べた蕎麦の美味しさには衝撃を受けました。そばのコシが今まで食べたものと段違いでした。ワーキングホリデー期間中に3年ぶりの新そば祭りが開催され、多くの人で賑わっていました。人口が少ない町とは思えないほどの活気を感じました。朱鞠内では湖に住むイトウに魅了されて来る釣り人や湖の調査や研究で来る人がいるのを知りました。自分にとって未知の領域でしたが、イトウが竿を凄まじい勢いで食らいつづくの体験したり、調査の手伝いできている同じ大学生の方の話を聞いたりして、釣りの面白さや湖の魅力を知ることが出来ました。

遠く離れた場所での生活をするに不安もありましたが、それを払拭されるほど刺激的で自然に魅了された時間でした。また、役場やシュマリナイ湖ワールドセクターの方々には大変お世話になりました。皆様が快く迎えて下さり、サポートをして頂いたのも、とても充実した時間を過ごすことが出来ました。ワーキングホリデーで体験した幌加内の魅力をどんな発信できればと思います。また、雪で景色が様変わりした冬の時期にまた来てみたいです！